

令和5年度四国中央市標準学力調査の実施結果について

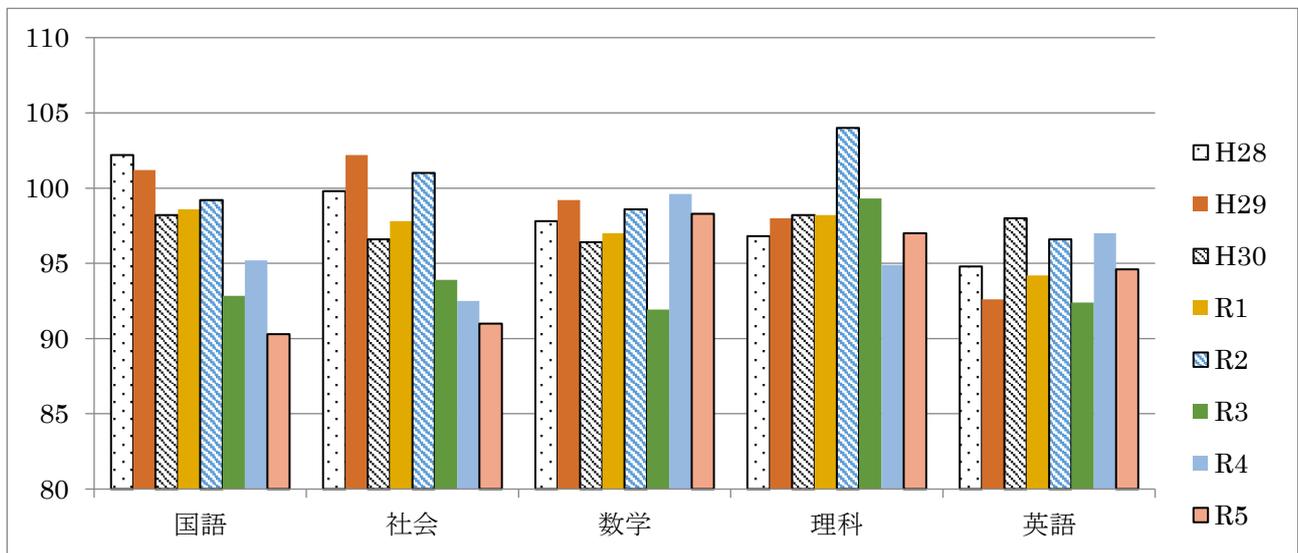
去る1月に実施いたしました本市の中学1年生の結果をお伝えします。

1 概要

学年	教科	結果の概要
1年	国語	全国平均を下回り課題があるようです。「文章を書く」に課題が見られます。「書くこと」「主体的に学習に取り組む態度」の育成が必要です。
	社会	全国平均を下回り課題があるようですが、「基礎」はおおむね良好な状況です。問題内容では、「飛鳥時代～平安時代」に課題があります。
	数学	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。「活用」の力にやや課題が見られますが、「図形領域」は全国を上回っています。
	理科	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。特に「生命領域」「主体的に学習に取り組む態度」は、全国を上回っています。
	英語	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。「場面に応じて書く英作文」と「3文以上の英作文」には課題が見られますが、「読むこと」は全国を上回っています。

2 学力の経年変化

- ・ 市内の中学1年生の平均正答率を、全国平均を100として比較したものです。
 - ・ 平成28年度からの経年変化を表しています。
- ※ 平均正答率とは、一人一人の児童の正答率（全設問のうち何%の設問に正答したか）を平均したものです。



3 各校における成果と課題

各校から、別紙にてお知らせします。

4 個に応じた事後指導

調査を受けた一人一人に、各教科の「弱点克服のためのフォローアップシート」を提供します。正答率が高かった生徒には、「チャレンジシート（発展的な問題）」を提供します。

なお、調査用紙の返却は、調査会社との取り決めにより、令和6年3月11日（月）以降にいたしますので、御了承ください。